

令和5年度学校評価のアンケートについて

令和6年2月 認定こども園専修大学北上幼稚園

園長 小原 栄子

保護者の学校評価アンケートには、多くの回答（196名中181名回答：回答率93%）ならびに貴重なご意見（記述57件）をいただきました。

【回 答】

回答欄に1～4の数字でご回答ください。よくわからないところは空欄にしてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1 そう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

集計結果から見てきたことについて、下のとおりまとめました。

1 学校評価のアンケートの「そう思う」+「おおむねそう思う」と回答した方が、すべての項目で93.3～100%の高い評価でした。

下のと通りの5項目が100%でした。

- (1) 100% ㉑「家庭では、おはよう、いただきます、おやすみなさい、ありがとう等の挨拶を励行している」
- (2) 100% ㉑「園は、教育・保育目標や運営方針を分かりやすく伝えている」
- (3) 100% ㉑「園は、園全体で子どもの保育に取り組んでいる」
- (4) 100% ㉑「保育者は、子どもの目線に立ってわかるように話し、子どもの意欲や自信を育てるように声かけや支援に努めている」
- (5) 100% ㉑「園は、清掃整理整頓が行き届いている」

2 「1 そう思う」と回答をいただいた項目の割合の高い順

- (1) 88.4% ㉑「園は、施設設備（保育室・園庭等）や教育環境の充実に努めている」
- (2) 87.8% ㉑「園は、清掃や整理整頓が行き届いている」
- (3) 82.8% ㉑「園は、子どもの安全で心地よく過ごすための配慮（園内や園庭の安全点検・事故防止・避難訓練等）をし、危機管理や安全対策に努めている。
- (4) 82.3% ㉑「保育者は進んであいさつを心がけ、子どもに温かい言葉遣いで接している」
- (5) 81.2% ㉑「様々な行事は、子どもたちの様子や成長が分かり、保育の意義（学びや遊びの大切さなど）を知る機会となっている」

3 「4 そう思わない」+「3 どちらかといえばそう思わない」と回答をいただいた項目の割合の高い順

- (1) 6.1% ㉑「保護者は子育てについて身近な人に相談している」
- (2) 2.6% ㉑「家庭では、ふわふわ・ちくちくことばの理解をして言葉に気をつけている」

4 まとめ

家庭での挨拶がしっかり行われている様子が伺われます。親子でおはよう、ただいま、おやすみなさい、ありがとうの挨拶を交わし生活しているというのは、幸福（ウェルビーイング）を感じます。

また、園でも挨拶を大事に考え、今年度、「ありがとう」を中心に取り組んでいます。各クラスで「ありがとうの木」を作り、それに子どもたちがありがとうと言った時に、ありがとうの花をつけると言ったように、クラスごとに創意工夫をして今も行っています。言葉は、人に気持ちや考えを伝えるツールです。子どもたちのこの大切な時期に、いろいろな経験をさせたいと思います。

いじめの問題は、小・中学校では大きな問題となっています。「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」についても、いろいろな方法で家庭に理解を示していただくように努めていかなければならないと考えています。園のグランドデザインの重点にあるように「自分も相手も大切にすること」と同じで、一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を大切な存在として尊重する意味を持つと考えています。

園児の人権について様々な場面で取り沙汰されています。園では今年度も全職員に対して「幼児教育に係る人権チェックリスト検査」を実施し、園児の人権に対する理解を深め、人権を守る意識の向上を図っています。また、「バス安全装置」を4月に取り付けました。送迎バスの乗降における人員確認も安全第一に考えて行っていきたいと思っています。

子どもたちの体力向上に外部講師をお願いして4、5歳児に「かがやき kids 教室」2、3歳児「うんどう教室」を開催しております。幼児期にもっとも伸びる体力として「調整力」があげられます。調整力とは、平衡性（バランスを保つ能力）、巧緻性（体を思い通りに巧みに動かす）、敏捷性（動作が素早い、機敏さ）などをいいます。いろいろな動きを通して体力づくりをしています。小学校に進んだ時にも大いに役に立つ動きを今後も育てていきたいと考えます。

保護者の皆様のご要望やお気付きの点、お子さんの家庭での様子や感謝の言葉等、貴重なご意見・ご感想を頂戴いたしました。ありがとうございました。